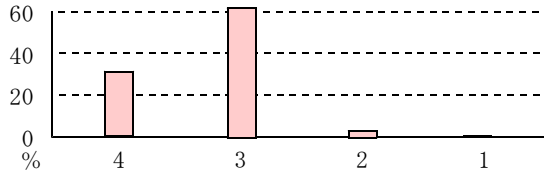


令和6年度 保護者による学校評価

本校の教育活動及び運営状況について、12月中旬に保護者の皆様から評価していただきましたが、結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

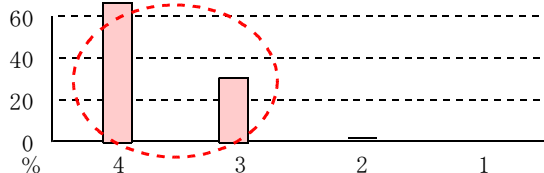
4 = たいへんそう思う 3 = そう思う 2 = あまり思わない 1 = 全く思わない

- ① 学校は、教育目標「共に学び、共に生きる」を実現させるために効果的な取組を進めている。



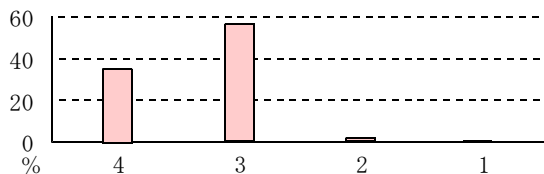
生徒に考えさせ、やらせてみる場を保障することに重きを置く学校経営を進めてきました。たてわり活動ではアイデアや意見を出し学校をよくしていこうとする姿に、生徒たちの大きな成長を感じています。今後も生徒の声を生かす取組を続けていきます。

- ② 学校は、教育活動の様子をホームページや通信等で分かりやすく伝えている。



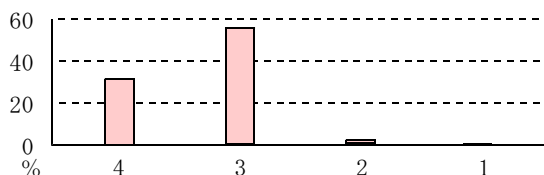
概ね十分だと考えている保護者がほとんどです。学校の働き方改革の一環として通信等のメール配信を始めており、校長通信の動画配信もわが子の成長を間近で見られるため好評でした。今後も保護者の皆様との連絡を密にしていきます。

- ③ 学校は、保護者や地域と連携・協力しながら教育活動を進めている。



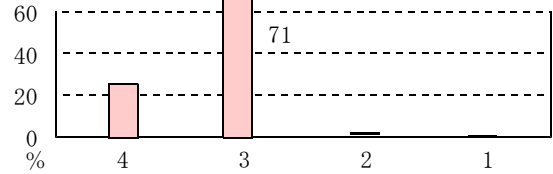
概ね十分と感じている保護者の割合が、昨年度とほぼ同様でした。家庭科の授業を中心に、地域の方々から学習の支援をしていただきました。今後も地域コーディネーターと相談しながら地域の教育力を学習活動に生かしていきます。

- ④ 学校は、生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう環境を整えている。



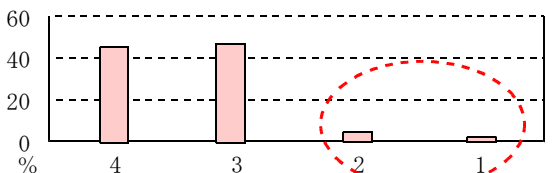
生徒の安全確保は、教育活動を行っていくうえで最も重要なことです。教職員は事故発生時には迅速に対応するよう研修を行っています。今後も気象災害、不審者、クマの出没等に対しては、メールで迅速にお伝えしていきます。

- ⑤ 学校のPTA活動は、計画的で協力的な活動が行われている。



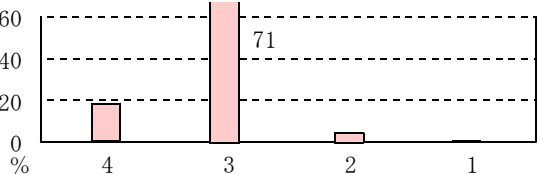
執行部のリーダーシップの下、今年度も計画通りに活動が行われました。今後も積極的にかかわりたいと考えてくれるPTA活動を展開したいと思います。授業参観、学年・学級PTAは、来年度も同じような時期に開催する予定です。

- ⑥ お子さんは、夢や目標をもって学校生活を送っている。



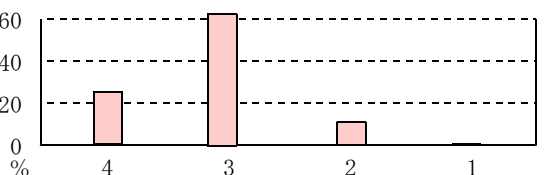
不十分だと感じている保護者がやや多くみられますが、県学習状況調査の結果とはずれが生じています。今後も学校生活のあらゆる場面で、生徒が認められていると感じられる場の充実を図っていきます。

- ⑦ 学校は、生徒の学習意欲を高め、学習習慣を身に付ける取組をしている。



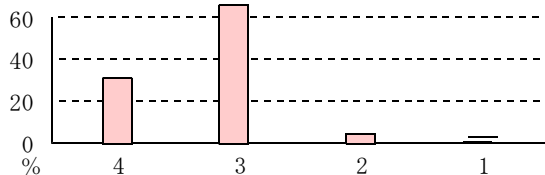
家庭での学習習慣の定着を図ることが課題だと捉えています。生徒が自己の家庭学習の時間や内容について振り返り、授業で学習した内容を更に理解できるようにするための方策を、担当部署で検討しているところです。朝学習の在り方についても見直しを図っています。

- ⑧ 教職員は、学力向上を目指し、生徒が「分かる・できる」授業を展開している。



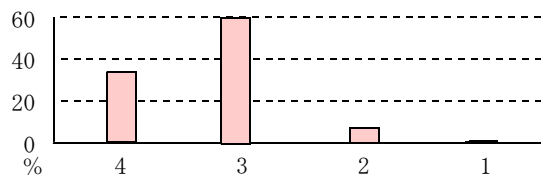
授業が「分かる・できる」実感を次の学習への意欲につなげていきたいと考えています。他の意見をしっかりと聴くことで「分からない」を発見できるよう、協力的な学びを充実させていきます。

⑨ お子さんは、学校生活のルールやマナーをよく守って生活している。



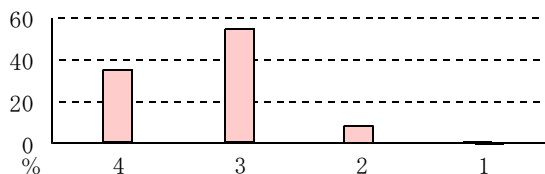
概ね十分と感じている保護者が多くみられます。月1回実施の学校生活アンケートで、生徒が自己の生活を振り返る機会を設けています。生徒たちが自分で自分の行動に決まりをつけて、それにふさわしい行動をするように努力していることがわかります。

⑬ 学校は、働くことや自分の将来について生徒が考える機会をつくっている。



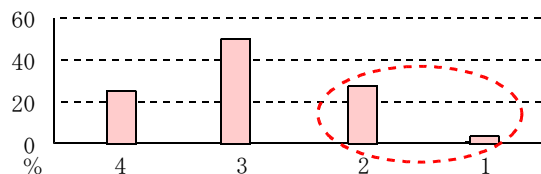
キャリア・スタート・ウィークは、生徒が社会を肌で感じる貴重な経験となるものと捉えています。今後も学校・家庭・地域との連携方法を模索しながら、生徒の自己探求を支援する体制を充実させていきます。

⑩ お子さんは、学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。



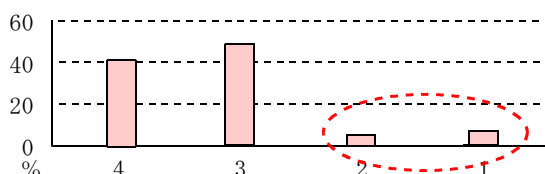
自分たちで学校行事をつくり上げる体験を通して、どの生徒も自分のよさに気づき、それを生かせるようにしていきたいと思います。今後も生徒たちの努力と貢献を評価し、気持ちを充足させる声かけを心掛けていきます。

⑭ お子さんは、自ら計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。



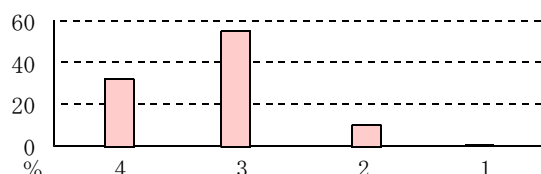
家庭学習については、不十分と感じている保護者が多くみられます。家庭でのメディアデトックスについて子どもと一緒に考えるよう呼び掛けるとともに、学ぶことへの意識を高めるキャリア教育を充実させていきたいと考えています。

⑪ お子さんは、目標をもって部活動に取り組んでいる。



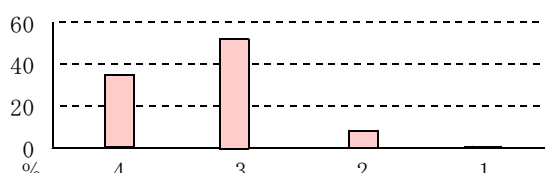
不十分だと感じている保護者がやや多くみられます。部活動通信等を利用して保護者に指導方針を明確に伝えていきたいと思います。部活動指導のあり方を教職員で再確認し、生徒にとって活動が充実した時間となるよう努めていきます。

⑮ お子さんは、家族や近所の人と挨拶を交わしている。



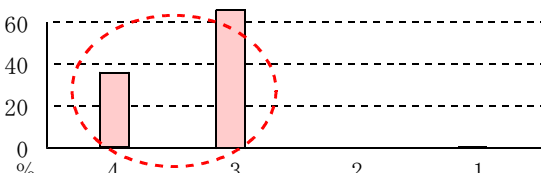
地域とともにある学校づくりを目ざして、コロナ禍で疎遠になっていた地域とのかかわりを増やしていきたいと考えています。

⑫ 教職員は、生徒の相談に親身になってのっている。



本校では生徒同士のトラブルが起きたとき、必ず複数の教職員で対応する体制をとっています。日頃からアンテナを高くもち、生徒の変調にすぐに対応し、生徒の気持ちに寄り添いながら対応していくよう今後も努めていきます。

⑯ お子さんは、公共のルールやマナーを守って生活している。



概ね十分だと考えている保護者がほとんどです。中学生になると友達同士や一人で行動する機会が増え、子どもたち一人一人が社会規範を強く意識しなければなりません。学校も公共の場の一つであるという捉え方を意識させていきたいと思っています。

お忙しい中、ご回答いただき感謝申し上げます。頂戴いたしましたご意見やご要望を一つ一つ真摯に受け止め、現在、担当部署や諸会議にて検討しているところです。今後も保護者の皆様のご期待に応えられるように、全教職員が一致団結して改善に向けて努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。